

競技ダンスを ラジオでPR

県大会準優勝ペア招き

FMとよみ

【豊見城】競技ダンスの魅力を知ってもらおうと、FMとよみの番組「ラ・まじゅん」は29日、特集を組んで生放送した。タンゴやワルツなどダンスで使われる曲を流しながら、県大会の上位入賞ペアに話を聞いた。

「ダンススポーツ」と呼ばれる競技ダンスは、社交ダンスから派生。競技性を高め、来年のアジア大会で正式種目になり、将来はオリンピック

採用を目指す。県内の競技者は約140人。全国では2万4000人が大会に出場するという。

番組は、7月の県大会で準優勝した仲嶺英世さん(56)、るみ子さん(54)夫婦に沖縄市をゲストに招いた。子育てを終え、健康づくりに関心し、ようと考えた二人は大学時代に習った社交ダンスを思い出した。2003年9月から競技会出場を目指し練習を始め



競技ダンスの魅力を紹介した（右から）仲嶺英世さん、るみ子さん夫婦。左はパーソナリティーの真境名照子さん＝豊見城市・FMとよみ

た。「80キロあった体重が4カ月で65キロまで落ちた」（英世さん）という猛特訓。以来、年2回ある県大会に出場し、

県外派遣も勝ち取ってきた。るみさんは「互いを思いやらないと成り立たない。思いやりを学べたのが一番大き

い」と笑顔を見せた。4月からは自宅近くでサークルの指導も始めた。趣味で踊る人に教えるほか、ジュニア世代に競技ダンスを広めたいと話した。